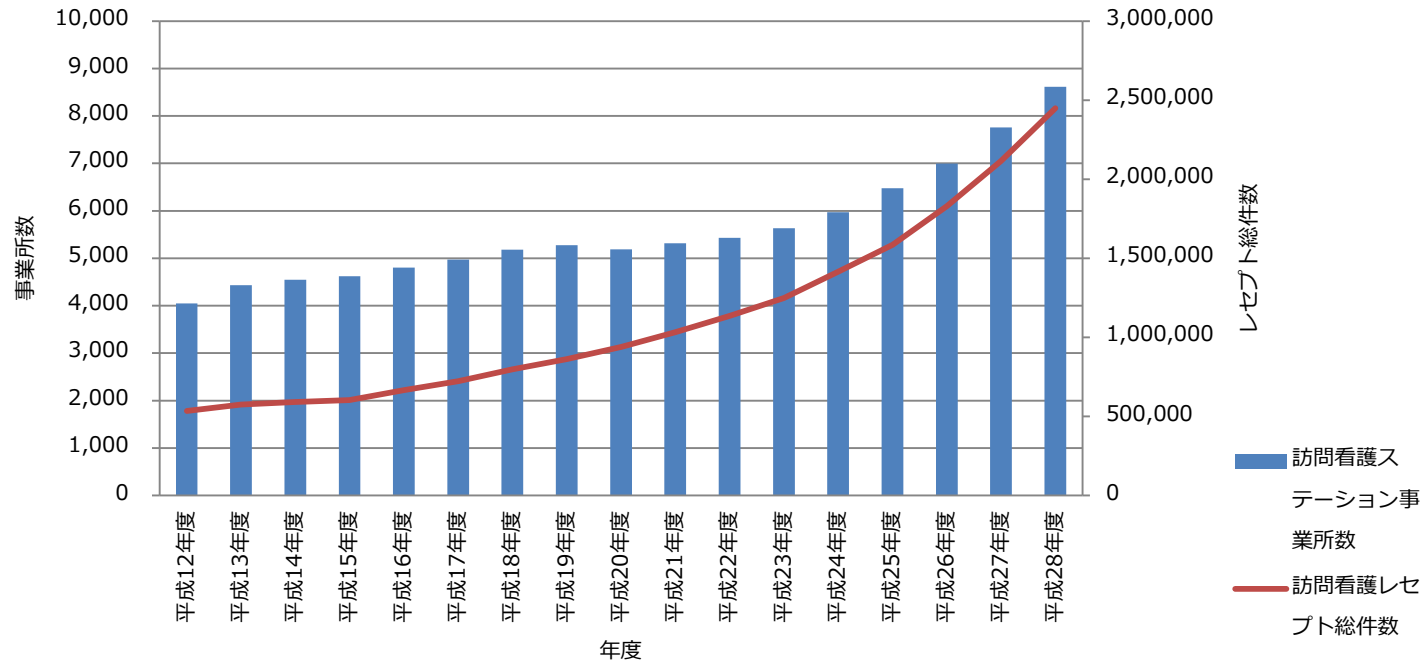


訪問看護レセプトの電子化について

平成29年11月8日
厚生労働省保険局

医療保険における訪問看護療養費にかかるレセプト請求の現状

訪問看護ステーション事業所数（レセプト総件数）推移



出典) 厚生労働省平成12~27年度「医療費の動向調査」(年度版) 最近の医療費の動向〔概算医療費データベース〕制度別医療機関種類別 医療費
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken03/03.html>

- 訪問看護ステーションの事業所数は、平成12年度に4,049事業所に対し、平成28年度には8,613事業所まで増加(約2倍)している。また、訪問看護レセプトの総件数は、平成12年度に535,110件に対し、平成28年度には2,448,372件まで増加(約4倍)している。

※ 1施設当たりの請求件数について2倍強の伸び率(平成12年度:132件と平成28年度:284件)

- 介護保険における訪問看護費は主に電子請求されている一方で、医療保険における訪問看護療養費の請求については、「訪問看護療養費及び公費負担医療に関する費用の請求に関する省令」に基づき、厚生労働大臣の定める様式(紙)で行われている。

訪問看護レセプトの電子化（案）

基本的な考え方

- 我が国における高齢化の進展に伴い、訪問看護の事業所数・レセプト件数はこの数年で大幅に増加しており、訪問看護ステーションにおけるレセプト請求事務や審査支払機関等におけるレセプト処理事務の効率化が必要。
- 地域医療や在宅医療の実態を把握していく上でも、今まで悉皆データがなかった医療保険分野における訪問看護においてレセプトが電子化され、介護と合わせた訪問看護全体の分析が可能になることは重要。



当面の方針案

- 今後、平成29年度の調査研究事業の中で開催予定の仕様調整会議（日本看護協会、全国訪問看護事業協会、日本訪問看護財団、日本医師会、医療保険者、審査支払機関、JAHIS等で構成）を開催し、関係者参加のもと、訪問看護療養費のレセプト電子請求のためのマスター、記録条件仕様等の作成を行う。
- 訪問看護療養費のレセプト電子請求の開始時期や実施方法等については、上記調査研究事業等での検討を踏まえ、関係者と協議の上決定する。

この部分の請求方法（紙→電子）変更を進める

訪問看護の流れ

